



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.8.12 No. 3444

● 前号よりフブク ●

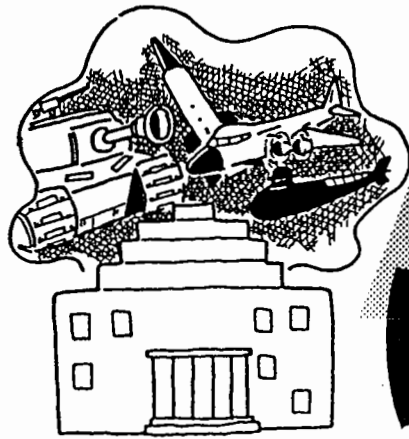
PKOのぬらいは カンボジアへの派兵

PKO法案によって自民党がまず狙っているのは、はつきり言ってカンボジアへの派兵だ。だから自民党は、カンボジア「和平」が合意に達する前に何としてもPKO法案を成立させなければならぬと、焦っているのだ。

今、日本の支配階級の基本戦略は、必要とあらば、軍事力にもを言わせてでもアジアを自らの勢力圏に取り込んで生き延びようということだ。すでに日本企業の傍若無人なアジアへの進出ぶりは、「新大東亜共栄圏」と言われている。しかし、無茶な進出をすればするほど、最終的には軍事力にもを言わせて言うことをきかせる以外なくなるのは当然のことである。そのためには、カンボジア「和平」を千載一遇のチャンスとして、アジアに自衛隊を派兵したという既成事実をつくってしまおう、というわけだ。

いつか来た道ー戦争を 生みだす見えない壁が！

日本の支配階級は、「日米構造協議」で、アメリカから二百項目に及ぶ対日要求をつきつけられている。中心的な要求は、何と支配階級の基盤である旧財閥系大独占



戦争が はじまる！ 2

企業グループの解体だ。要するに財界や自民党の連中は崖っぷちにたたさされている。しかも、ヨーロッパは、九二年EC統合に向けて通貨統合に着手

し、アメリカも「南北アメリカ自由貿易圏」形成に向かっている。つまり、それぞれが生き残りをかけて、高い壁をはりめぐらせて、世界の囲い込みを始めようとしているのだ。ベルリンの壁は崩壊したが、今、世界には見えない壁が作られている。この壁は戦争の結果作られた壁ではない。戦争を生み出す壁だ。これが「ブロック化」と言われるやつだ。第二次大戦の時も、世界の列強国が一斉にこんなことを始めたから必然的に領土の分捕り合

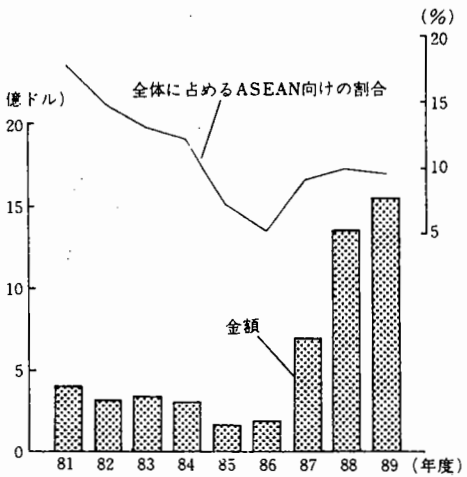
アジアを取り込め、一っいに 新大東亜共栄圏へ！

ところで、なんでカンボジアに自衛隊を派兵しようと言うのか？ この二月に、外務省の谷野アジア局長は、日本政府の狙いを次のように語っている。「私たちは、早くカンボジアで和平が達成されて、日本の東南アジアとの関係を全面的なものにしたいという気持ち強くもっています。一九七七年に時の福田首相が描いたのは、

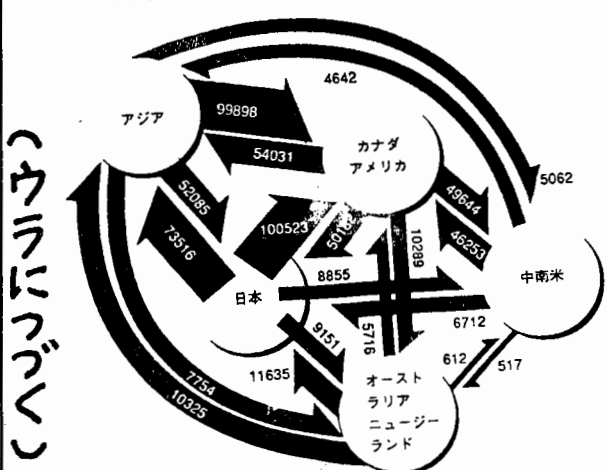
い、つまり戦争に行き着いた。今また同じことが始まっている。世界を食いものにしてのし上がった日本は、憎悪の的となり、世界市場からシャットアウトされようとしている。結局自民党は、「アジアは日本のものだ、経済的にも、政治的にも、軍事的にもアジアを制圧せよ」と、アジアを自らの勢力圏に囲い始めようとしているのだ。まさにいつか来た道、「大東亜共栄圏」の再来だ。

一方にアセアンがあり、他方にインドシナ三国があつて、わが国はそれぞれと活発な関係をもっていることだった。……特にベトナムは非常に将来性をもつ大国だと思えます。これを取り込むことが必要です。そのためにはカンボジア問題は早く解決してほしい。」

日帝の対ASEAN直接投資の推移



日帝をめぐる世界的貿易量 (単位・百万ドル)



9・7PKO派兵、小選挙区制法案粉碎全国闘争へ

反合・運転保安確立！ 反戦・反核を担う労働運動を！

「外交フォーラム」……つまり、自衛隊をカンボジアに派兵することによって、インドシナ三国支配の主導権を日本がとろうというのだ。

そして、アセアンに対しては、この九月、天皇が、タイ・マレーシア・インドネシアに「訪問」して、新たな「謝罪のお言葉」で自らの勢力圏化へのさらなる一歩を踏みだそうというのだ。この「訪



頼まれもしないのに

ところで、自民党の連中は、「

世界中が汗と血を流しているときに、日本だけ金儲けに専念しているのか」(大蔵省が胴元になって、証券業界・財界ぐるみでヤクザとつるんでイカサマ賭博をやっている)とこんなことが言えただけだ！この証券スキヤンダルだ、地獄の釜の蓋が開くのはまだこれからだと言われている！。百三十億ドルだって、労働者が額に汗して働いてかせいだ税金だ。やつらの懐はこれっぽっちも痛んではない！「国際貢献をしなければ日本は孤立する」などと言っている。派兵、派兵、と大騒ぎをしている。マスコミまで煽られて全

問国」も決して偶然選ばれたわけではない。八五年以降、日本企業の投資が最も急増した国がこの三国なのだ。とくにタイは、カンボジアのとなりの国だ。

カンボジア派兵と天皇のアセアン訪問——この二つを通して東南アジア全体の支配権を握る手がかりにする。これが政府自民党の政治プログラムだ。

く同じことを言っている。

「ただ、ちよつと待てよ。いつたい派兵されようとしている側は何と言っているのか？洪水のようなキャンペーンを聞いていると、是非派兵してほしい、とでも言っているような錯覚さえ覚える。しかし、実際は自民党がひとりで大騒ぎしているだけにすぎない。実は海部もそのことはちゃんと知っていて、五月の連休にアセアンに行き、盆休みには中国に行き、とアジア中を飛び歩いて札束を振りかざして「へたなことを言ったらたじやおかないぞ」と脅してまわっているのだ。

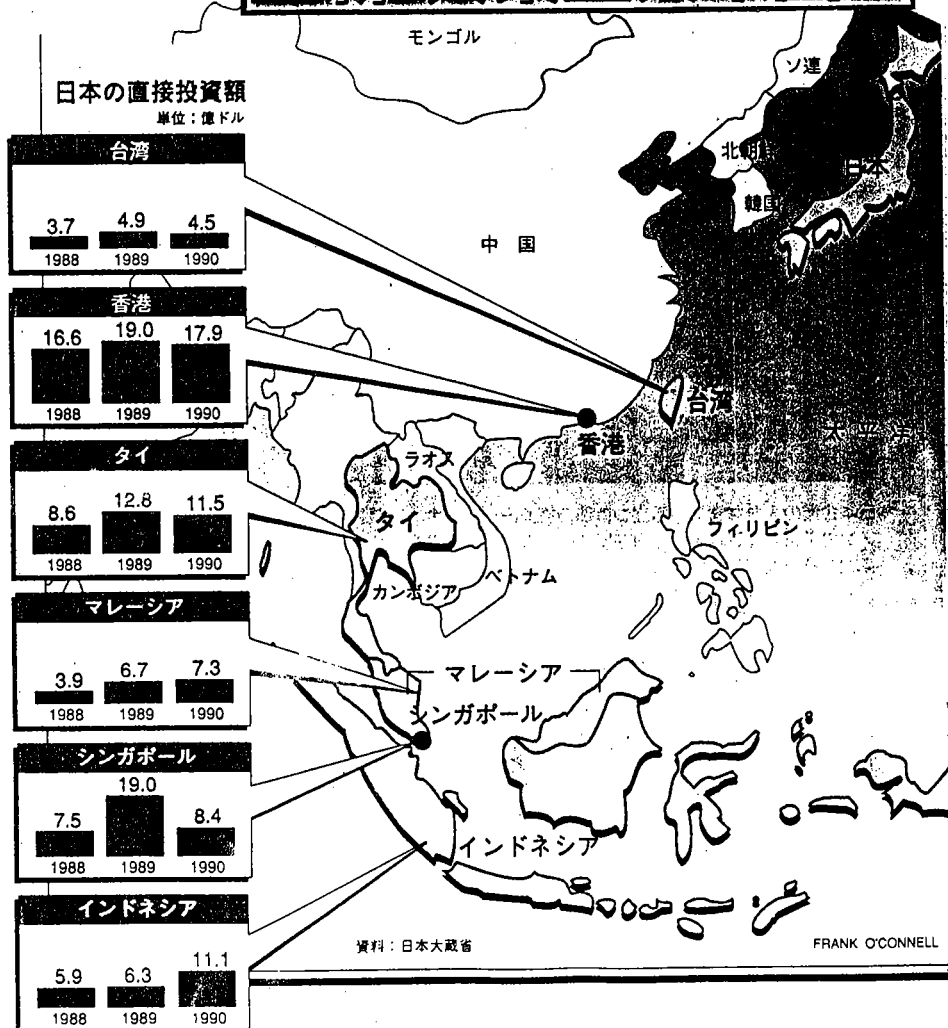
いない。日本の海外派兵を認めることは禁酒中の酒飲みみアルコール菓子をあげるのに似ている」(シンガポール、リー・クアンユー前首相)「国内の事情はあるかも知れないが、客観的に見て日本が敢えて兵隊をカンボジアに送る必要はない」(インドネシア、アラタス外相)「日本はアジア諸国が、戦前日本軍による侵略で多大の苦痛を与えたことを忘れるべきではない」(同、ムルディオノ官房長官)……これがアジアの声だ。

かどうかという議論をしている。国際的に見て本当に恥ずかしい。超党派でカンボジアへPKO視察団を送るといふニュースを聞いたときはもうびっくりした。全く何を考えているのか。……だいたいカンボジアから呼ばれてもいないのに、国際貢献すべきだと騒いでいるのは恥ずかしい」と言っているというのだ。

外務省の駐タイ大使ですら、「カンボジア問題の解決のメドも立っていない段階で、自衛隊を送る

要するに、「PKO自衛隊派兵」「国際貢献」などという議論は、何から何までインチキだということだ。結局、最後に残るのはただひとつ、「新大東亜共栄圏」の野望だけである。

新・大東亜共栄圏



つづく

「多くのアジア人は日本が平和

維持活動に参加することを望んで

日本は世界の敵になる